



600 シリーズ 取扱説明書

安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や物的損害（ルンパ本体および付属品を含む）を防ぐために、必ずお守りいただきたいことを説明しています。

表示について



警告

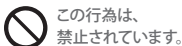
「人が死亡、または重傷を負う可能性があるもの」を示します。



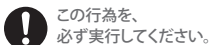
注意

「人が重傷を負う、または物的損害が生じる可能性があるもの」を示します。

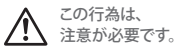
図号について



この行為は、禁止されています。



この行為を、必ず実行してください。



この行為は、注意が必要です。

注意

- ・ 万一、製品から煙がでたり、変なにおいがしたり、製品が過熱したときは、ただちに使用を中止してください。発火・感電の原因になります。

- ・ 製品からバッテリー・乾電池を取り外してください。
- ・ 煙がでなくなったことを確認し、アイロントサービスセンターにご連絡ください。お客さまによる修理は、危険ですから絶対におやめください。
- ・ 電源コードは本製品以外に使用しないでください。

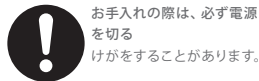
ルンパ本体・付属品



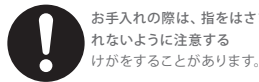
警告

- 引火性の高いものの近くで使わない、バッテリーを装着したままで可燃性スプレーを使わない
爆発や発火の原因になります。
- 食用油や機械油を吸わせない
発火や故障の原因になります。
- 分解・修理・改造・改変をしない
発火・発熱・感電・けがの原因になります。
- 重いものを載せたり、投げたりしない
故障の原因になります。
- 充電直後は、ルンパ裏面の端子に触れない
やけどの原因になります。
- 濡れた手で触らない
感電の原因になります。

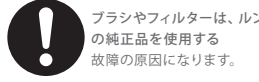
- 濡れる場所に置かない、濡れる場所で使用しない
感電や発火の原因になります。
- 水洗いしない、濡らさない
感電や発火の原因になります。
- 雷が鳴ったら、電源プラグに触らない
感電の原因になります。
- 高いところや不安定なところで使わない
落下による、けがや故障の原因になります。
- ルンパの排気口をふさがない
ルンパの変形や発火の原因になります。
- ルンパの排気口から金属や燃えやすい異物などを入れない
感電・発火・故障の原因になります。
- 子供やペットの近くでルンパを使わない
けがの原因になります。
- 故障や異常があるときは使用しない
感電・発火・更なる故障の原因になります。
- 電源コード、ホームベース、電源プラグを破損しない
無理に曲げる、引っ張る、重い物を載せるなどの行為により破損すると、感電・発火の原因になります。



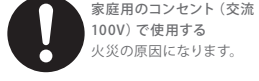
お手入れの際は、必ず電源を切る
けがをすることがあります。



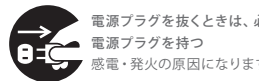
お手入れの際は、指をはさまれないように注意する
けがをすることがあります。



ブラシやフィルターは、ルンパの純正品を使用する
故障の原因になります。



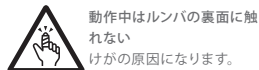
家庭用のコンセント（交流100V）で使用する
火災の原因になります。



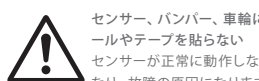
電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持つ
感電・発火の原因になります。



注意



動作中はルンパの裏面に触れない
けがの原因になります。

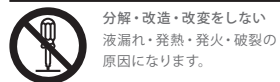


センサー、バンパー、車輪にシールやテープを貼らない
センサーが正常に動作しなくなり、故障の原因になります。

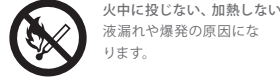
バッテリー・乾電池



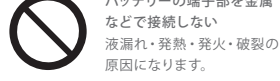
警告



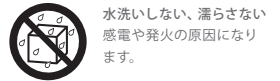
分解・改造・改変をしない
液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



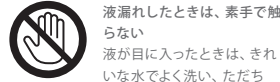
火中に投じない、加熱しない
液漏れや爆発の原因になります。



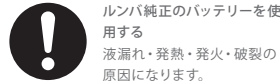
バッテリーの端子部を金属などで接続しない
液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



水洗いしない、濡らさない
感電や発火の原因になります。



液漏れしたときは、素手で触らない
液が目に入ったときは、きれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。
液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。



ルンパ純正のバッテリーを使用する
液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

使用上のご注意

ルンパは一般家庭用の製品です。ほかの用途にはご使用になれません。ルンパを快適に、より安全にご使用いただくため、以下の注意事項をよくお読みください。

使用できない場所

- 傷みやすい敷物や床材、壁材
- 毛足の長いカーペット
- デリケートなカーペットやムートン、フェルト素材の敷物
- 柔らかい材質や黒および濃い色のフローリング床面
- ワックス塗りたて、またはフロアコーティングをしたフローリング床面（ご使用前に施工業者にご相談ください）
- デリケートな建材（漆喰やけいそう土などの塗り壁）

ルンパが故障しやすい場所

- 毛足の長いカーペットの上、ふとん、毛布、マット、ベッド
- 高く不安定な場所、風呂場などの濡れた場所
- ストーブなど高温になる機器の周辺
- タイル張りの床、大理石等の石材の床、コンクリートの床、屋根裏、石畳、屋外、倉庫、工場

事前に準備が必要な場所や物

- 保護する必要があるもの（ルンパが振動を与えたり接触する可能性があります）
- 漆塗りなど傷のつきやすい光沢のある家具や置き物、屏風など

- 軽い振動で倒れたり壊れたりしやすい陶磁器類、ガラス工芸品類、姿見など
- 机や台などが受けた軽い振動により、破損や落下する恐れのある陶磁器類など
- 吸い込まれやすいもの（アクセサリーなど）

移動する必要があるもの

- 水、油（食用油、機械油など）、揮発性の高い液体類（アルコール、ベンジン、ガソリンなど）
→片づけてください
- ベッドなどの排泄物
→片づけてください
- 電気機器やパソコンのコード
→絡まないようにまとめてください
- カーペットやマットの端の長い房など
→内側に折り込んでください
- 床につくほどの長いカーテン
→持ち上げてまとめてください

落下防止のための注意が必要な場所

- 階段、踊り場、ロフトなど
 - 玄関の上がりがちななど
- 上記のような段差のある場所では、パーチャルウォールまたは物理的な障害物を設置してください。

ルンパの動作を妨げる場所

- 高さ 10cm 未満の狭い場所を、ルンパは走行できません。ルンパの通路をふさぐものを、あらかじめ移動させてください。
- 床の敷居や段差などは、高さによりルンパが乗り越えられない可能性があります。走行中に引っ掛かってしまう場合には、ルンパが入り込まないように準備してください。

- 床材の色が黒系統もしくは濃い茶系統の場合、センサーが誤認識して、前に進まなくなることがあります。

バッテリーの正しい使いかた

ルンパは内蔵されたバッテリーで動作します。使いかたを誤ると、バッテリーの寿命が大幅に縮んだり、バッテリーが破損することがありますので、以下をよくお読みになり、バッテリーを正しくお使いください。

注意 次の行為は、バッテリー破損の原因になります

- 落下などにより強い衝撃を与える
- 電源コンセントに接続されていないホームベースに、ルンパを接続する
- ホームベースに接続せず、バッテリーをルンパに入れたまま 1 週間以上放置する
- 取り外したバッテリーを、3ヶ月以上放置する
- 直射日光が当たる場所や高温の場所に、バッテリーを放置する

注意 充電開始後は、バッテリーアイコンが緑色に点灯するまで中断せずに充電してください。

- 充電中に、本体裏面バッテリー格納部周辺が熱くなることがあります。そのようなときは、十分に冷めるまで待つてから、ルンパを使用してください。
- 使用頻度が著しく低い場合、バッテリーの寿命を縮める原因になります。少なくとも 1 週間に一度使用するか、充電してください。1 週間以上使わないときは、バッテリーを十分に充電した後に取り外し、冷暗所で保管してください。
- ルンパの電源が切れていてもバッテリーは少しずつ消費され、数日でバッテリー切れになります。充電せずに 1 週間以上放置すると、バッテリーが過放電（バッテリーあがり）を起こし、寿命が短くなったり破損したりします。
- ルンパをご使用にならない場合でも、常に充電してください。

- 充電せずに長時間放置したときは、過放電によりバッテリーが破損している可能性があります。

- バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店、または協力自治体へお持ちください。安全のため、端子部が隠れるようにゼロハントテープなどを貼ってください。

お問い合わせ：JBRC
http://www.jbrc.com/



Li-ion 00



Li-ion 20

電波に関するご注意

- 製品の無線回路を分解または改造すると、法律で罰せられることがあります。
- 以下の機器や無線局は、一部製品に搭載されているものと同じ 2.4GHz 周波数帯の電波を利用しています。
 - 産業・科学・医療用機器（電子レンジ、無線 LAN 機器、防犯機器、心臓ペースメーカーなど）
 - 免許を要しない無線局（特定小電力無線局）
 - 免許を要する無線局（工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、アマチュア無線局）
- 以上の機器や無線局の近くで製品を使用した場合、電波干渉が発生する場合があります。
- 心臓ペースメーカーなどの医療用機器に影響が及んだ場合、すみやかに製品の電源をお切りください。
- 特定小電力無線局、構内無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合は、アイロロボットサービスセンターにお問い合わせください。

目次

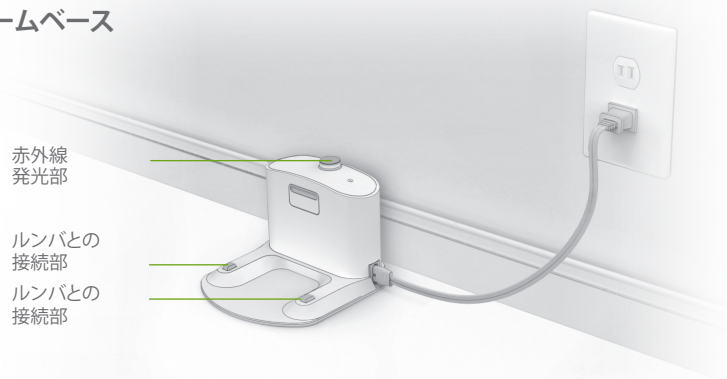
安全上のご注意	i
ルンバ600シリーズの名称	2
はじめに	3
タイマー予約	4
付属品	4
ルンバのお手入れ	5
困ったときは	8
ユーザー登録する	9
アイロボットサービスセンター	9

ルンバ 600 シリーズの名称

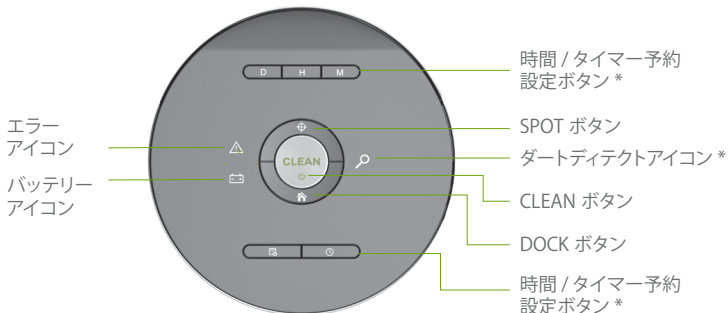
天面



ホームベース

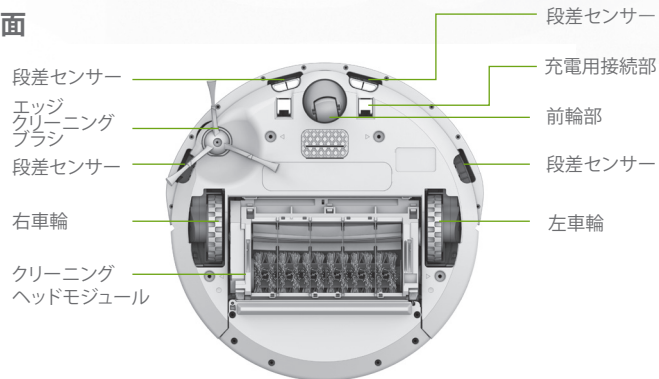


ボタンとアイコン



* 機種により異なります

底面



はじめに

ホームベースを設置する

ホームベースは障害物のない広い場所の壁に沿って設置してください。ホームベース周辺には以下の空間を取っていただくことをおすすめします。

- ホームベース両脇に 0.75 メートル以上
- ホームベース前方に 2 メートル以上、階段などの段差との間に 2 メートル以上
- バーチャルウォールから 3 メートル以上


ホームベースは常に電源に接続してください。

ルンバを使う


ルンバを裏返して、絶縁シートを取り除きます。


ルンバをホームベースの上に置いて起動させます。



はじめて清掃する前に、ルンバをホームベースで約 3 時間充電してください。


 **メモ：**ルンバは出荷時に一部充電されていますが、十分に充電されていない場合、清掃時間が短くなることがあります。

- ルンバの電源を入れるには、CLEAN ボタンを一度押します。
清掃を開始するには、再度 CLEAN ボタンを押します。

 **メモ：**清掃を開始する前に、床の上を片付けてください（衣類、玩具など）。
床をきれいに保つため、ルンバは定期的にご使用ください。

- 清掃中にルンバを一時停止するには、CLEAN ボタンを押します。
- 清掃を再開するには、再度 CLEAN ボタンを押します。
- 清掃を終了し、ルンバをスタンバイモードにするには、ランプが消灯するまで CLEAN ボタンを押し続けます。
- 清掃中にルンバをホームベースに戻すには、CLEAN ボタンを一度押してから、 DOCK ボタンを押します。

-  スポットモードを使用するには、ルンバをゴミの上に置き、 SPOT ボタンを押します。スポットモードでは、ルンバは直径約 1 メートルの範囲を集中的に清掃します。まず、中心から外方向にグルグルと円を描きながら清掃し、さらに内方向に清掃しながら開始した場所に戻ります。

 **メモ：**清掃後には毎回ダスト容器を空にして、必要に応じてフィルターを清掃してください。




- ルンバをホームベースに設置しておくと、常に充電され、必要な時にいつでも清掃が開始できます。ホームベースに長期間接続しない場合は、ルンバからバッテリーを取り外し、本体とバッテリーを湿気の少ない涼しい場所で保管してください。

バッテリーの充電

ルンバのバッテリーは、ホームベースで充電します。節電のため、充電開始から 60 秒後にすべてのランプが消灯します。バッテリーの充電状態を確認するには、一度 CLEAN ボタンを押してバッテリーアイコンを点灯させてください。バッテリーが充電中のときにはバッテリーアイコンがオレンジ色に点滅し、充電が完了すると緑色に点灯します。

時計の設定（一部の機種のみ）

タイマー予約を設定する前に、ルンバの時計を合わせてください。時計の設定方法は、次のとおりです。

-  (時計) ボタンを押し続けます。
-  (時計) ボタンを押したまま、D (曜日)、H (時)、M (分) ボタンをそれぞれ押して、正しい時刻に設定します。
-  (時計) ボタンから指を放すと時計が設定され、ルンバから確認音が鳴ります。

タイマー予約（一部機種のみ対応）

ルンバは曜日ごとに1日1回、タイマー予約を設定して、自動的に清掃を開始させることができます。タイマー予約を設定する前に、ルンバの時計を合わせてください。

タイマー予約の設定 / 変更

- 1 時計（予約）ボタンを押し続けます。
- 2 時計（予約）ボタンを押したまま、D（曜日）、H（時）、M（分）ボタンを何度か押して指定します。
- 3 時計（予約）ボタンから指を放すと予約が設定され、ルンバから確認音が鳴ります。

タイマー予約の消去

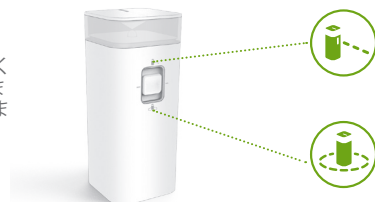
- 1 時計（予約）ボタンを押し続けます。
- 2 時計（予約）ボタンを押したまま、何度かD（曜日）ボタンを押すと、設定されているタイマー予約が曜日順に表示されます。
- 3 消去する曜日のタイマー予約が表示されたら、D（曜日）ボタンを5秒間押し続けると、選んだ曜日の予約が消去されます。
- 4 時計（予約）ボタンから指を放すと、ルンバから確認音が鳴ります。

付属品

デュアルバーチャルウォール

（全600シリーズ対応）

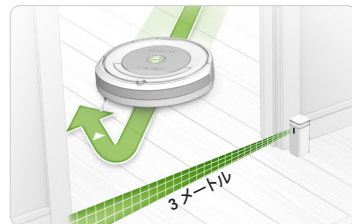
デュアルバーチャルウォールは、清掃させたくない場所にルンバが立ち入らないようにします。ご使用しない時も、本体を動作させたまま床に置いておくことができます。ご使用方法に合わせ、2つのモードから選択できます。



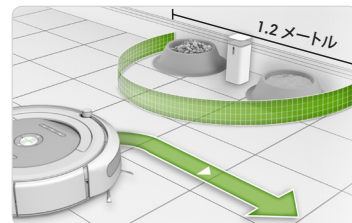
メモ：電池の寿命は、通常使用で約8～10か月です。バーチャルウォールを長期間使用しない場合は、スイッチを必ず中央の位置（オフ）にして保管してください。

バーチャルウォールモード：スイッチを上（↑）の位置に合わせると、バーチャルウォール機能が有効になります。最大3メートルのルンバにしか見えない壁が作られます。

メモ：この見えない壁は、本体から離れるほど幅が広がります（イラスト参照）。



ヘイローモード：スイッチを下（↓）の位置に合わせると、ルンバが進入できないエリアが作られます。保護したい物（ペットの餌入れなど）にルンバがぶつからず、望まない場所（部屋の角や机の下など）を通らないようになります。ルンバが進入できないエリアは、半径約60センチメートルです。




ルンバのお手入れ

お手入れについて

ルンバの清掃能力を最適に保つために、定期的にお手入れしてください。ルンバの吸引力が低下したら、ダスト容器を空にして、フィルターやブラシを清掃してください。

部品名称	お手入れの頻度	交換時期の目安
ダスト容器	使用後毎回	-
フィルター	週に 1 回 (ペットのいるご家庭は 週に 2 回)	吸い込む力が弱くなったとき
メインブラシ フレキシブルブラシ	週に 1 回 (ペットのいるご家庭は 週に 2 回)	摩耗したとき
前輪部 エッジクリーニング ブラシ 段差センサー 充電用接続部	1 か月に 1 回	-

 **メモ：**アイロボットの製品にはさまざまな部品があります。交換部品が必要な場合は、アイロボットサービスセンターまでご連絡ください。

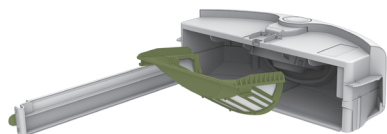
ダスト容器を空にする

ダスト容器取り外しボタンを押して、ダスト容器を取り外します。



フィルターを清掃する

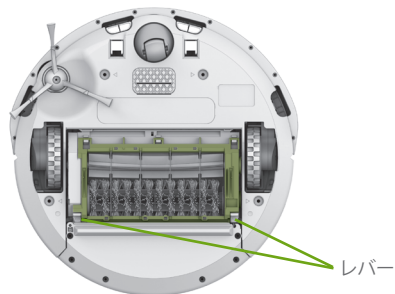
フィルターを取り外します。ゴミ箱の上でフィルターをはたき、ゴミを落とします。フィルターを元に戻します。



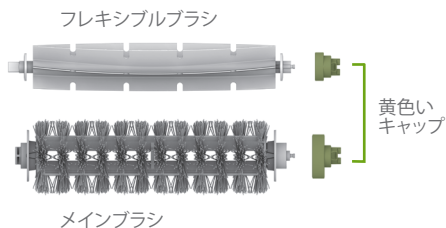
吸い込む力が弱くなったときは、フィルターを交換してください。

ブラシのお手入れ

- 1 ワイヤーガードの2つのレバーに指をかけ、引き上げます。



- 2 メインブラシとフレキシブルブラシを取り外し、ゴミや髪の毛を取り除きます。



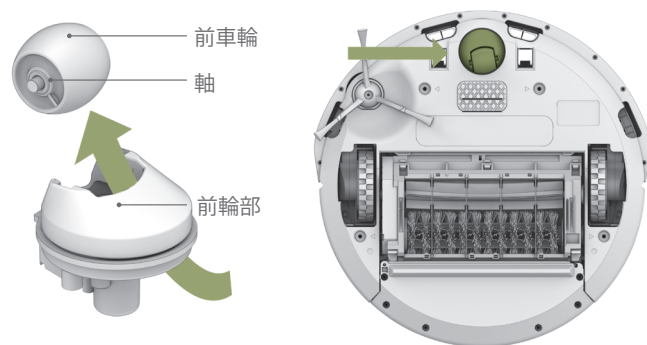
- 3 2本のブラシから黄色いキャップを取り外し、内側にたまったゴミや髪の毛を取り除きます。



ブラシが摩耗したときは、交換してください。

前輪部のお手入れ

- 1 ルンバの前輪部をつまみ、本体から引き抜きます。
- 2 本体側のくぼみの中のゴミを取り除きます。
- 3 前車輪を手で回します。うまく回らない場合は前車輪を取り外し、軸を強く押して抜き取ります。そして、軸に巻き付いているゴミや髪の毛を取り除いてください。
- 4 ゴミが取れたら、すべての部品を元に戻します。前車輪を戻す際には、カチッと音がするまできちんとはめ込んでください。



! **注意：**前輪部に髪の毛やゴミが絡まっていると、床を傷つける可能性があります。

段差センサーと充電用接続部のお手入れ

段差センサー、ルンバの充電用接続部、ホームベースの接続部を乾いた清潔な布で拭きます。



エッジクリーニングブラシのお手入れ

プラスドライバーを使ってネジを外します。エッジクリーニングブラシを取り外して清掃、元に戻します。



困ったときは

JP

清掃中のエラー

バッテリー残量が少なくなると、バッテリーアイコンが赤く点滅します。その場合は、すぐにルンパをホームベースの上に置いて充電してください。

清掃中に何らかの異常や特殊な状況が発生すると、エラーアイコンが点滅します。また、エラー音とメッセージでお知らせします。CLEAN ボタンを押すと、エラーメッセージが繰り返されます。

表示とメッセージに関する詳しい情報、対処方法などは、<http://www.irobot-jp.com/support/> をご覧ください。

充電中のエラー

充電中に何らかの異常や特殊な状況が発生すると、エラーアイコンが点滅し、充電エラーメッセージでお知らせします。本体とホームベースの充電用接続部に汚れやゴミが付着していないことを確認してください。表示とメッセージに関する詳しい情報、対処方法などは、<http://www.irobot-jp.com/support/> をご覧ください。

ルンパに関するご質問やご意見がある場合は、アイロボットサービスセンターにご連絡ください。

アイロボットサービスセンターでは、使用方法やよくあるご質問、付属品、他のアイロボット製品などに関する情報をご案内しております。

リチウムイオンバッテリー

(一部機種のみ対応)



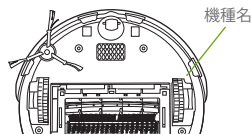
注意：リチウムイオンバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーを内蔵する製品には、厳しい輸送規制が適用されます。この製品（バッテリーを内蔵したもの）を、業務、旅行、その他の理由で輸送する場合は、以下の手順に従う必要があります。

- » 製品からリチウムイオンバッテリーを取り外します。
- » バッテリーを取り外す手順については、<http://www.irobot-jp.com/support/> をご覧ください。
- » バッテリーの金属製の端子部が隠れるようにセロハンテープなどを貼り、絶縁します。
- » テープを貼ったままの状態でバッテリーを製品に戻し、ボトムブレートをしっかりと閉じます。
- » 購入時に製品が入っていた梱包箱か、ご自分で用意した梱包箱（輸送中に製品が動かないもの）に製品を入れます。
- » 輸送される場合は陸送をご使用ください（航空輸送不可）。

ユーザー登録する

ユーザー登録に、お客様の製品番号が必要となります。
製品番号とモデル名は、下記手順にてご確認ください。

- 1** お買い上げのルンバ®の機種名を確認する
ルンバ®には、複数の機種があります。
ルンバ®の裏面で機種名をご確認ください。



- 2** お買い上げのルンバ®の製品番号を確認する
ルンバ®本体裏面（ダスト容器を外すと見えます）
に記載された製品番号をご確認ください。



確認が完了しましたら、下記サイトにてユーザー登録をお願いします。

<http://www.irobot-jp.com/>

アイロボットサービスセンター

ルンバに関するご質問やご意見がある場合は、アイロボットサービスセンターにご連絡ください。

アイロボットサービスセンター

TEL:0120-046-669 (通話無料) ※1

受付時間 9:30 ~ 17:30 ※2・3

ホームページ <http://www.irobot-jp.com/>

- ※1 携帯・PHS からご利用いただけます。
- ※2 午前中は大変混み合いますので、比較的つながりやすい午後におかけください。
- ※3 年末年始、ゴールデンウィークはお休みさせていただきます。また、弊社都合によりお休みさせていただくことがございます。あらかじめご了承ください。
- ※4 お客様からご提供いただいた個人情報は、お問い合わせへの対応、カタログの発送、その他情報提供に利用させていただきます。
個人情報の取り扱い: <http://www.irobot-jp.com/policy/>

注意:

修理のために交換した部品・付属品および製品は、弊社で引き取らせていただきます。

製品を使用したことによって発生した損害については、製品の性質上、責任を負いかねます。

製品は日本仕様です。日本国外で使用された場合、責任を負いかねます。



©2016 iRobot Corporation, 8 Crosby Drive, Bedford, MA 01730 USA. All rights reserved.
iRobot、アイロボット、Roomba、ルンバ、iAdapt、Home Base、ホームベース、Virtual Wall、
バーチャルウォール、AeroVac、Dirt Detect は iRobot 社の商標または登録商標です。